片山亜紀さん

かたやまあき 片山亜紀

ネット販売対応

▲ 三原市本郷町善入寺 https://www.akikatayama.com ※問合せはホームページへ

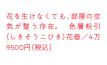
磁器製の茶杓。長年暮らした 京都に想いを込めて。 積層 刳貫手(せきそうくりぬきて)茶 杓「かもかわ・かつらかわ」/ 7万7000円(税込)

手に取って確かめたくなる質感

柔らかな輪郭とナチュラルな色合い、年輪のように 整った筋目。くり抜きの木工作品にも通じる造形美の 陶器を創り出すのは、三原市の陶芸家、片山亜紀さん だ。板状の粘土「たたら」を幾重にも重ね、一つの塊を 作った後にくり抜いていくという斬新な手法で、茶器 や酒器のほか、日々の暮らしに使える皿、カップなど も創作している。

三原市で陶芸家の家に生まれ、父の仕事をする姿か らものづくりの楽しさを知った。京都市立芸術大に進 み陶磁器を専攻。卒業後も京都で創作活動を続けた。 自然豊かな環境に生まれ育ったこともあり、自然の美 や質感を大切にしていたことから、いつしか粘土を素 材としての「塊」にして削り出すという技法に行き着 いた。さまざまな作品を生み出してきたが「他にもで きることはないか」と、常に可能性を追求している。

2018年に三原市に帰郷。「お気に入りの器をそばに 置いて、心地よい時間を過ごせてもらえたら」と作陶 を続けている。







手前の乾燥中の器は、この後 表面を整えてから3度の本焼 きをして完成

物心ついた時からものづくりは身近 なものだったという。自宅離れの一 室を工房に。右奥が窯場







MIHAR

ふだん使いの中に美を 民族紋様ベースの器



丸みのあるぽってりとしたシルエットが 愛らしいマグカップ。紋様の黒土が釉 薬のグレーと好相性。 マグカップ/ 3000円(税込)

安田さんのテーマカラーともいうべき 瑠璃色のソバチョコ。紋様はロウ抜き という技法で描かれている。 ソバチョ コ/2500円(税込)





すっきりとしたラインとナチュラル な色合いは、コーヒーはもちろん、紅 茶、日本茶でも使いたくなる。 マグ カップ/3000円(税込)

海を望む工房兼ギャラリーは、安 田さんが慕い、最も影響を受けた という叔母の設計をベースに建築



三原市生まれの安田あすかさんは、ミュージシャン を目指して2001年に渡米。ロサンゼルスの友人宅で 目にした陶器製のバターケースが、彼女の人生を変えた。

昔から器が好きだったため、「陶芸をやってみたい!」 と一瞬で決意。友人の通っていた大学の陶芸科に入学 した。09年に帰国。修業しようと思って訪ねた陶芸家 から、「基本があるなら独立したほうがいい。米国で得 た個性を大切に」と言われ、故郷の三原に戻り工房を 構えた。

マグカップやソバチョコなどに施された幾何学的 な紋様。ネイティブアメリカンやアイヌ、アボリジニ など世界各地の民族に共通するパターンを描くのが 安田さんの作風だ。追求するのは「使いやすさの中に 素朴な美しさ」がある作品。日常にさりげなく共存し ている人と器が、暮らしをほんの少し豊かにする要素 になれたらと思っている。

おいしいコーヒーを味わう時間に、そっと寄り添え るようなマグカップを作りたいと、今日もろくろに向 かう。

とうこうぼう ポレ ポレ

陶工房 Pole Pole 電話注文対応

10848-51-7864 △三原市須波西 1-5-25

④火曜~土曜の10:00~16:00 ※日曜は予約のみ対応

https://www.iichi.com/shop/polepole ※取り寄せは電話注文にて